



2024年12月期第3四半期 決算説明資料

FIG株式会社 2024年11月14日





FUTURE INNOVATION GROUP



商号 FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)
 設立 2018年7月2日
 ※グループ前身のモバイルクリエイト設立は2002年
 代表者 代表取締役社長 村井 雄司
 所在地 大分県大分市東大道二丁目5番60号
 従業員数 774名 (2023年12月末現在連結)

マシーン	IoT						
	主要3社						
 REALIZE	 モバイルクリエイト	 ケイティーエス	 オプトエスピー	 ciRobotics	 プライムキャスト	 CAOS	
孫会社 (国内: 3社、海外: 3社)							

IP無線システム



携帯インフラを活用したIP無線システムのパイオニア。主力の車載タイプに加えて、防災市場ではハンディタイプが好調でLINE連携も展開。

タクシー配車システム

タクシー配車システム、車載端末はタブレット化でメーターと連動。配車室受託が好調で、ユーザー向けLINE配車もサービス開始。



ペイメント

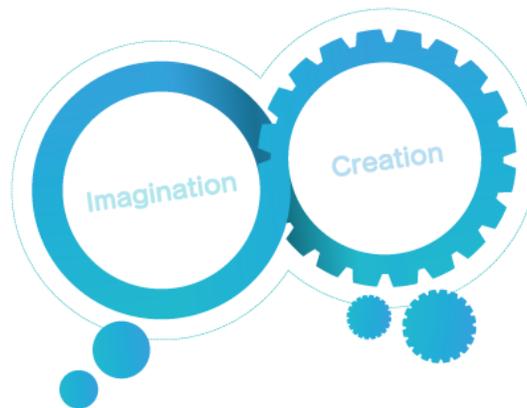
得意とする公共交通を中心にペイメントサービスを展開し、高いセキュリティ基準であるPCIDSSも取得。沖縄本島IC乗車券システムのOKICAは、商業拡張をスタート。



バスロケーションシステム



バスの経路や乗り継ぎ検索、接近情報などをバス利用者へ提供。バスロケーションシステムでは、国内トップレベルのシェア。デジタルサイネージや混雑情報システムなども展開。



半導体・自動車関連自動化装置

自動車部品を製造する装置を開発から設計・製造・組立・販売・サービスまでトータルで手掛け、メーカーとして高い評価を得ています。



ホテルスマート化



ビジネスホテルやシティーホテル向け客室のマルチメディアシステム、リネンシステム（客室清掃管理）や施設混雑案内システムなどIoTを活用しています。

ロボット



マップデータを元に走行を行い、マニピュレータが人の代わりに作業を行います。ロボットシステムインテグレーターだけでなく、自社オリジナル搬送ロボットも開発。

ドローン



産業用ドローンの開発・販売を行っています。ドローン活用における省人化の実証実験にも参画しています（ドローン宅配・スマート農業・血液検体の輸送など）。

- 01 | **業績予想の修正及び中期経営計画の期間延長**
- 02 | **2024年12月期第3四半期決算概要**
- 03 | **事業のトピックス**
- 04 | **補足資料**

01 | 業績予想の修正及び中期経営計画の期間延長

2024年12月期の通期連結業績予想を修正

IoTセグメントのIP無線やモビリティ関連・ペイメントサービスの好調を背景に過去最高業績を目指したものの、下半期に半導体市場の外部環境が好転せずに売上高が大幅未達となり、売上総利益の減少とロボットへの先行投資により各利益も未達

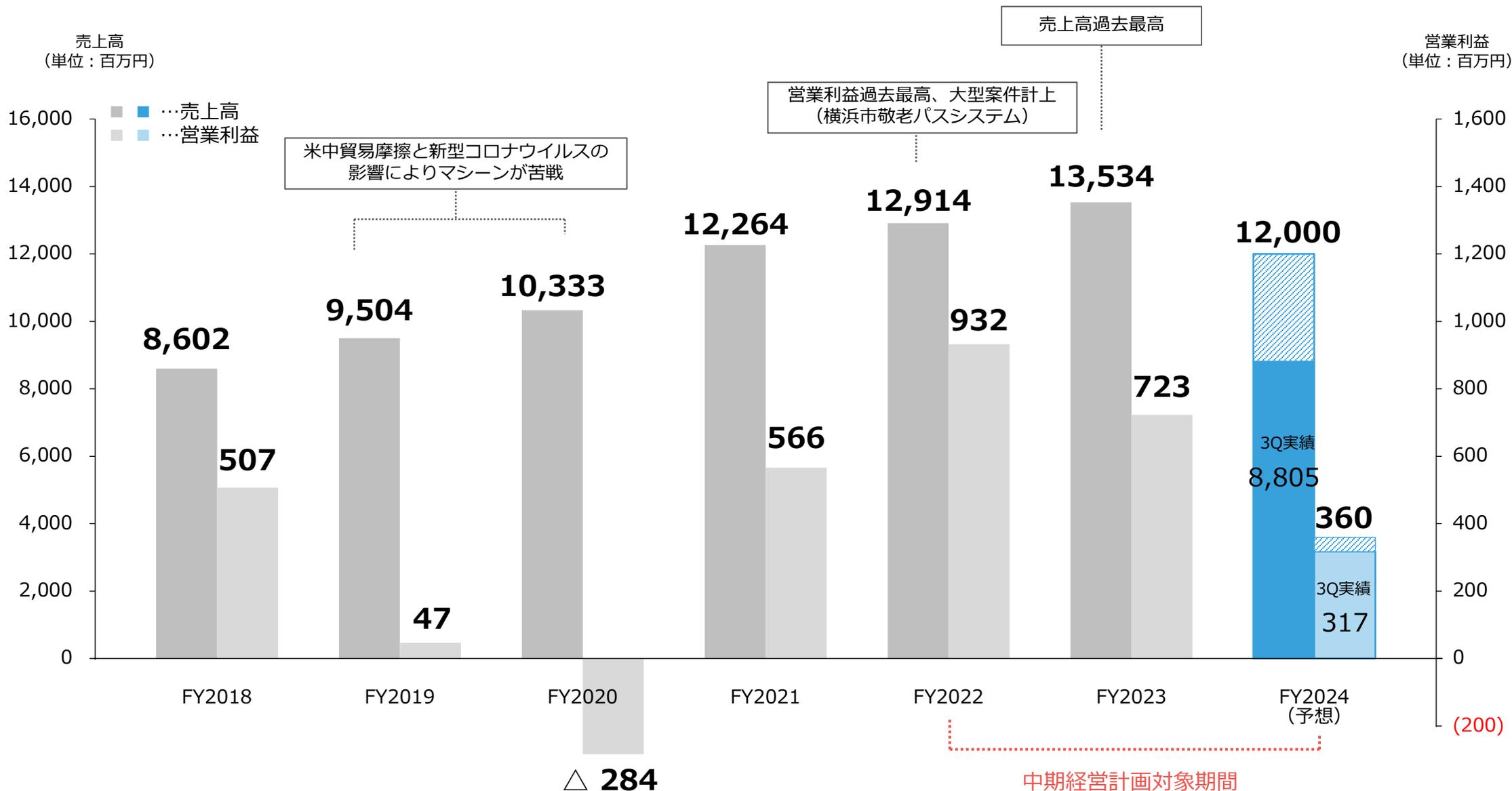
- ✓ 昨年より続く半導体市場の過剰在庫からの需要回復を下半期から見込んでいたものの、半導体市場は最先端品を除いて車載向けと産業機器向けが低迷し回復はまだら模様で推移、また当期は自動車工場の稼働停止による減産も影響（半導体製造装置・自動車関連製造装置、IoT基板製造などで苦戦）※需要好転は2025年以降となる見込み
- ✓ IoTセグメントの中では、好調サービス以外でホテル関連と通話録音のサービスが苦戦
- ✓ 成長ドライバーとして位置付ける搬送ロボットは、市場全体の導入ペースが想定していたよりも緩やかながら、自動化のニーズは確実に高まるため先行投資を積極的に実施（販管費の増加要因）

(単位：百万円)

	期初通期予想 FY2024	修正通期予想 FY2024	増減額	参考：前年通期 FY2023
売上高	15,000	12,000	△3,000	13,534
営業利益	1,123	360	△763	723
経常利益	1,092	336	△756	715
最終利益	1,000	275	△725	210

※最終利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

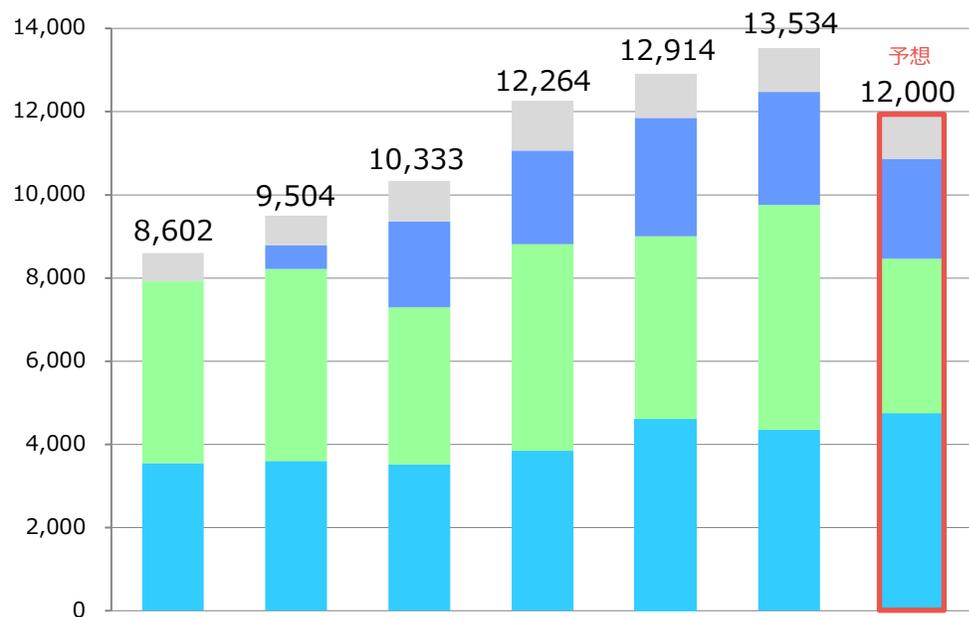
売上高と営業利益の推移



グループ主要3社別業績推移（売上高・売上総利益）

売上高（通期）

(単位：百万円)



	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 実績	FY2021 実績	FY2022 実績	FY2023 実績	FY2024 予想
■ その他	682	710	968	1,197	1,061	1,056	1,123
■ ケイティーエス		576	2,070	2,254	2,850	2,716	2,414
■ REALIZE	4,366	4,611	3,771	4,964	4,388	5,411	3,715
■ モバイルクリエイト	3,553	3,606	3,523	3,847	4,613	4,349	4,748

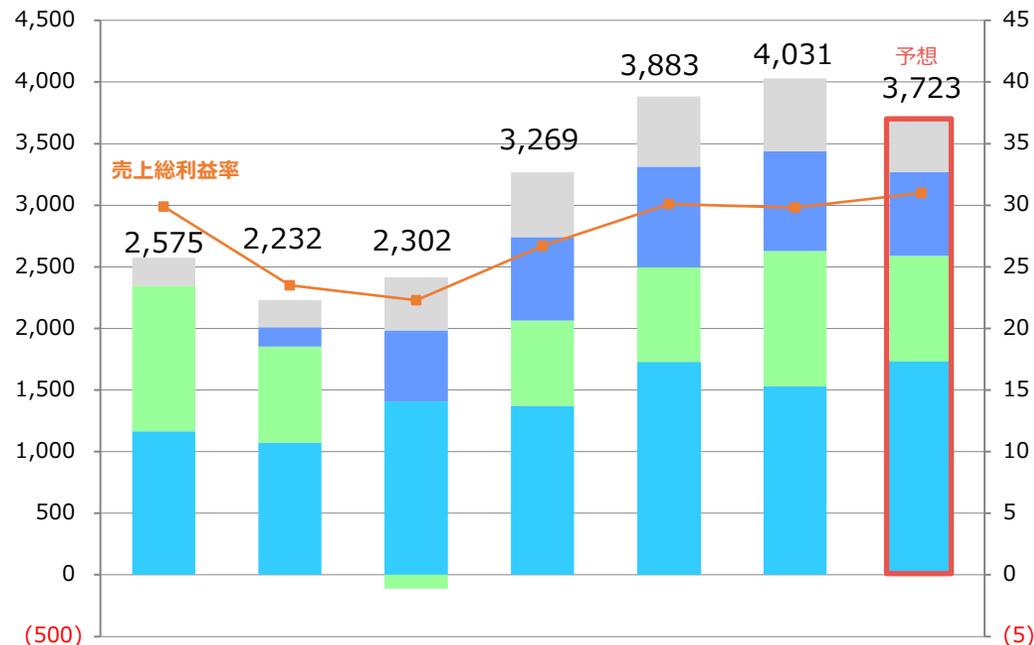
大型案件で
過去最高実績

過去最高更新見込

売上総利益（通期）

(単位：百万円)

(利益率：%)



	FY2018 実績	FY2019 実績	FY2020 実績	FY2021 実績	FY2022 実績	FY2023 実績	FY2024 予想
■ その他	231	221	430	527	568	593	453
■ ケイティーエス		155	578	677	816	808	681
■ REALIZE	1,178	781	△113	692	770	1,098	856
■ モバイルクリエイト	1,166	1,073	1,407	1,372	1,728	1,531	1,733

大型案件で
過去最高実績

過去最高更新見込

(主要3社の事業内容)

■ モバイルクリエイト (IP無線やモビリティ関連サービス・ペイメントサービス)

■ REALIZE (半導体・自動車関連製造装置、搬送ロボット)

■ ケイティーエス (ホテル関連サービス、IoT基板製造) ※FY2019.4Qより連結

中期経営計画（FY2022～FY2024の3年間から、FY2025までの4年間に延長） プライム市場の上場維持基準に向けた計画も1年延長予定（2024年12月末→2025年12月末へ）

主な事業の取り組み状況

ロボット 自動化成長市場



- ✓ REALIZEと提携先の匠を中心としたグループ総力事業
- ✓ 装置とロボットの連携によるFA・物流倉庫向け自動化市場獲得（REALIZE成長がグループ成長の鍵になる）
- ✓ 大手半導体・自動車メーカーへと顧客層は拡大中

ペイメント 基盤拡大



- ✓ モバイルクリエイトの成長基盤で公共交通に強み
- ✓ タクシー向けは絶好調、センター集約型のABT方式でバス向けもサービスを拡大中
- ✓ 自治体向けも新市場として導入開拓中

IP無線 特需獲得



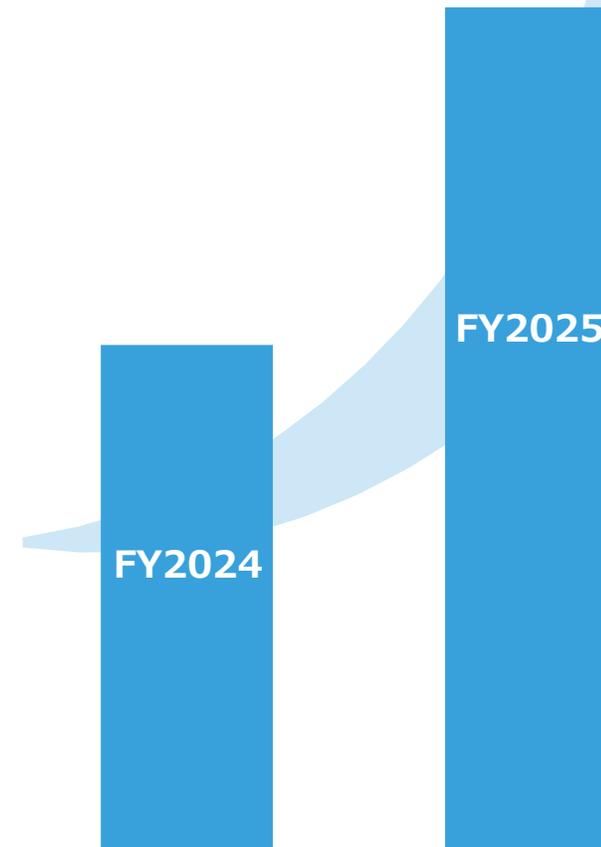
- ✓ モバイルクリエイトの基盤事業でサブスクが拡大
- ✓ 10万局超の自営無線サービスが終了、切替の特需獲得
- ✓ 政府が推進する公共安全モバイルシステムへの対応を推進し、自治体導入実績を拡大

SiTV 新市場開拓



- ✓ ケイティーエスのホテル関連サービスで足元は導入済のVODをメインにした旧モデルが解約で苦戦
- ✓ ネット動画などをメインにした新モデルへの切替促進中
- ✓ 医療施設向け実績獲得、海外展開など新市場を開拓中

現計画への再チャレンジ
（次期中計への準備期間として成長基盤を確立）
営業利益11億円、EPS24円、ROE8%

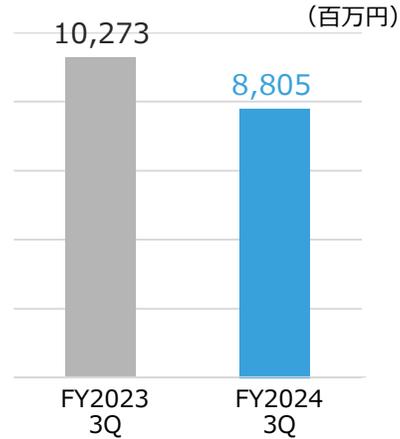


02 | 2024年12月期第3四半期決算概要

売上高

88.0 億円

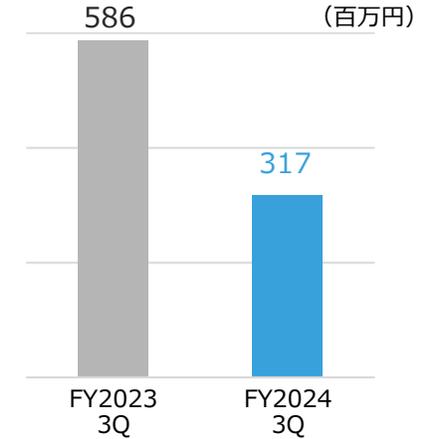
前年同期比：△14.3%



営業利益

3.1 億円

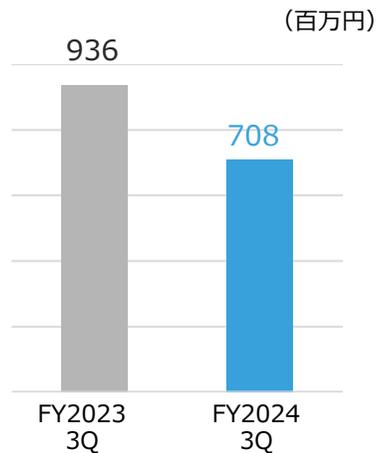
前年同期比：△45.8%



EBITDA

7.0 億円

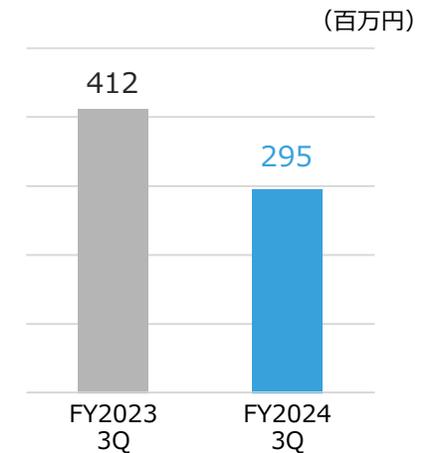
前年同期比：△24.4%



最終利益

2.9 億円

前年同期比：△28.3%



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

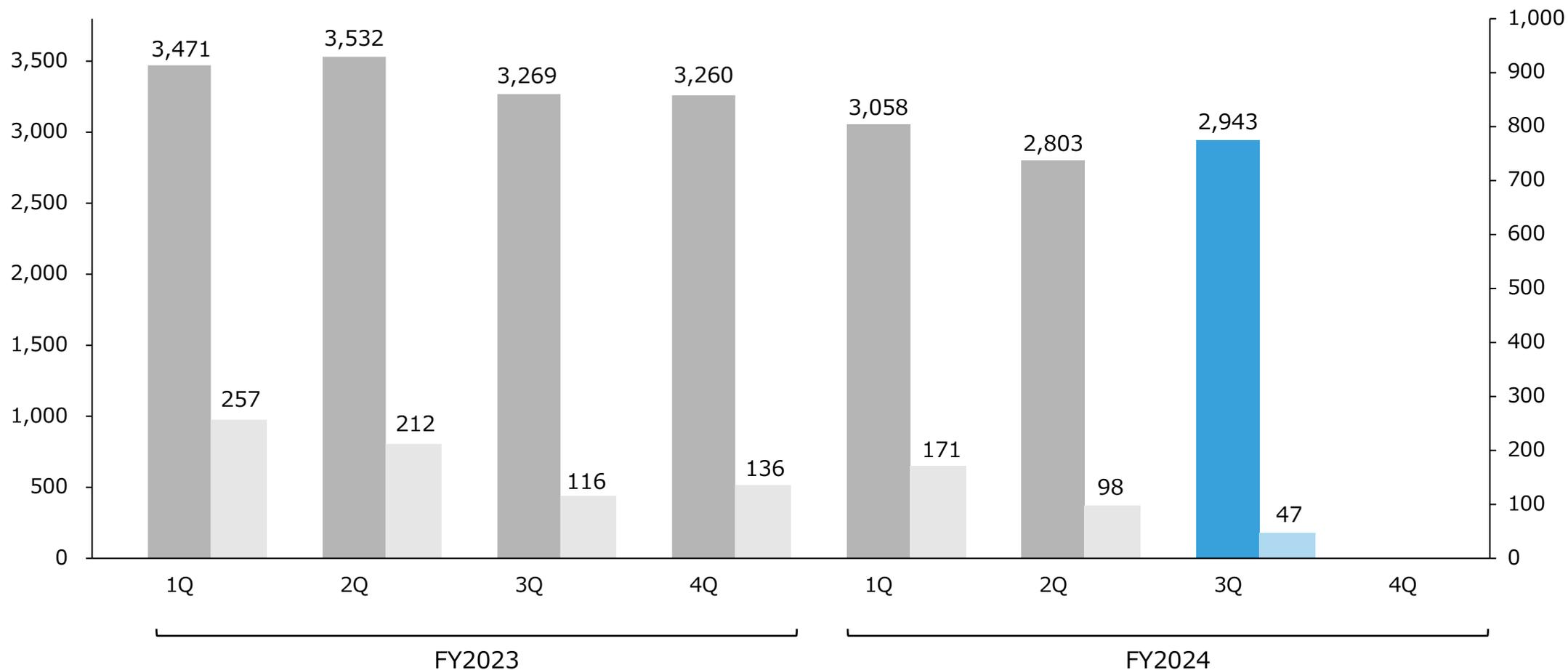
四半期業績推移（売上高・営業利益）

売上高
(単位：百万円)

営業利益
(単位：百万円)

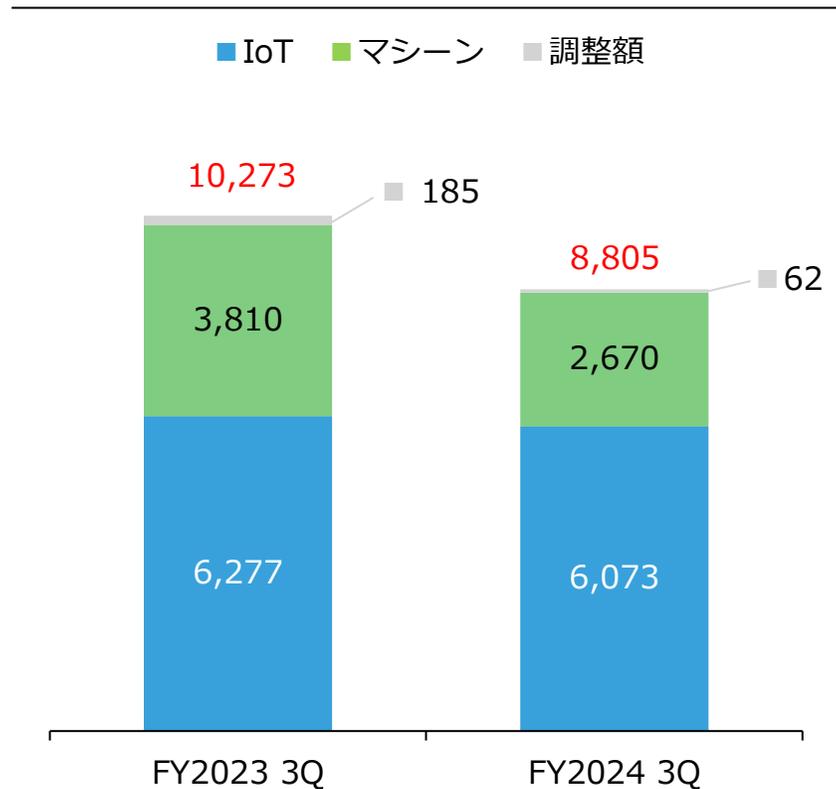
■ 売上高 ■ 営業利益

■ 売上高 ■ 営業利益



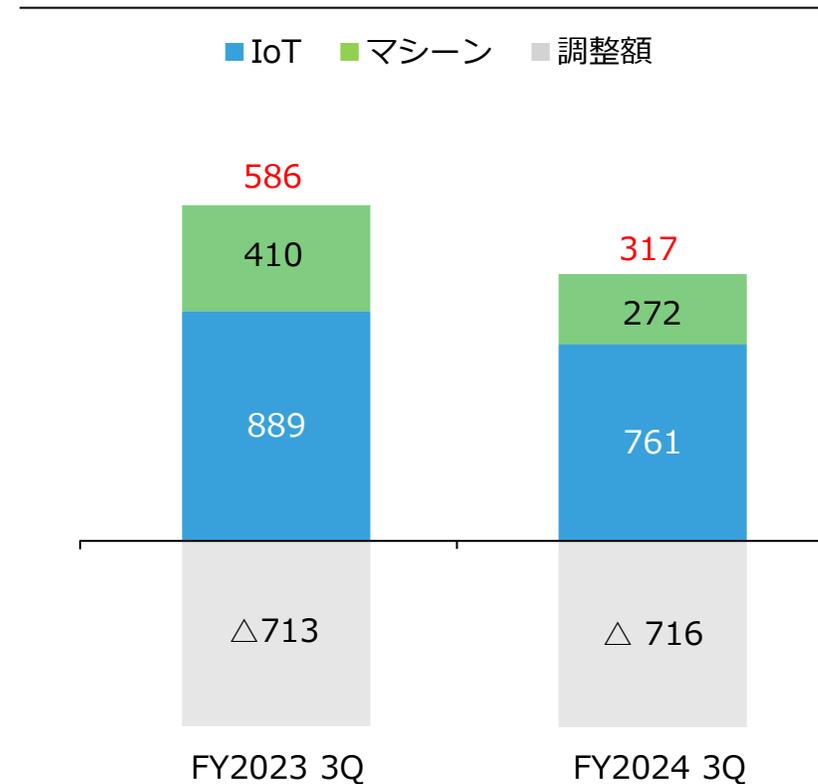
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



※スマートシティは譲渡のため調整額に変更しております。

収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高

モビリティ関連は好調ながら、ホテル向けなどで苦戦

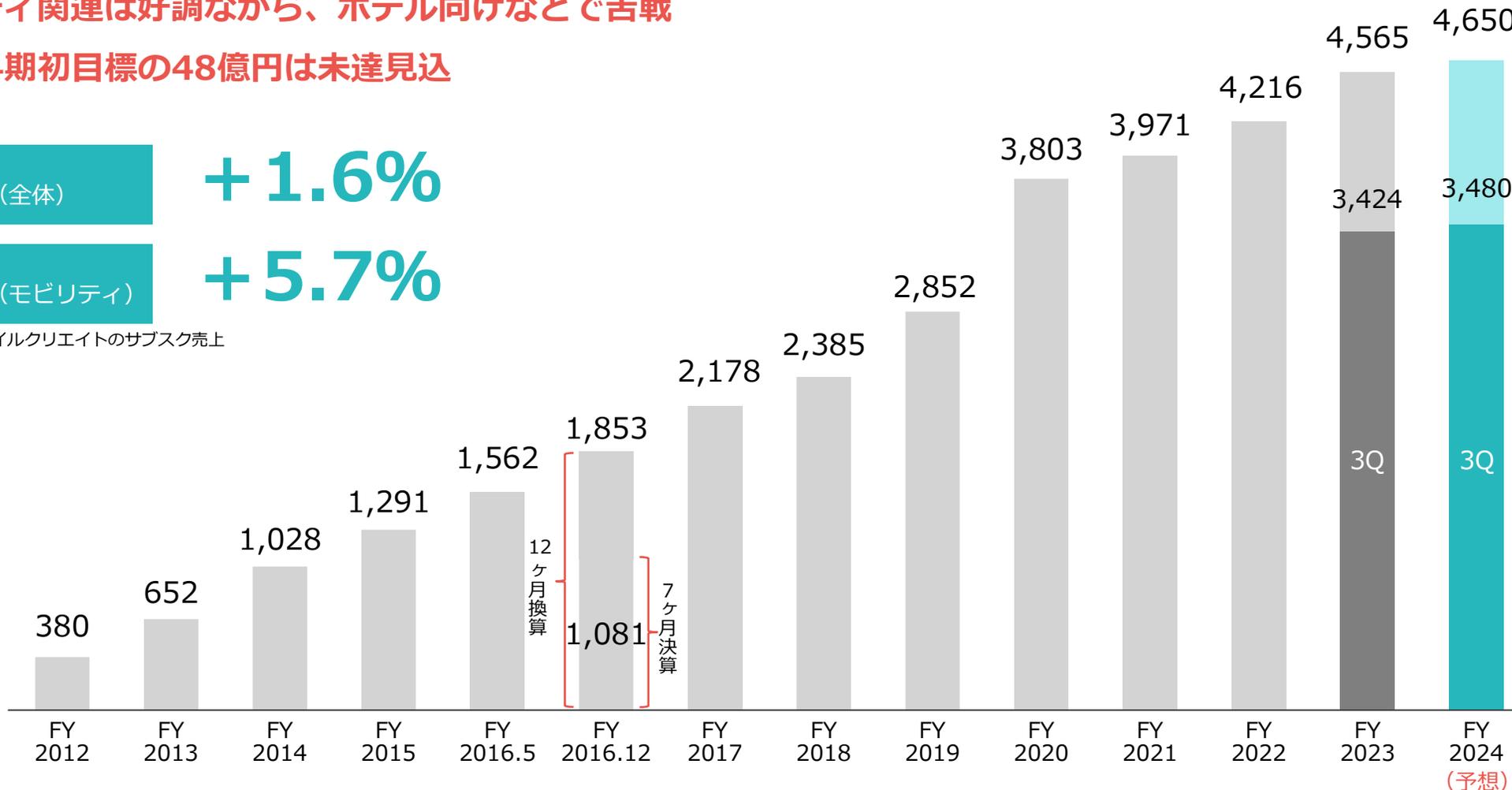
FY2024期初目標の48億円は未達見込

(単位：百万円)

YoY (全体) **+ 1.6%**

YoY (モビリティ) **+ 5.7%**

モビリティ：モバイルクリエイティブのサブスク売上

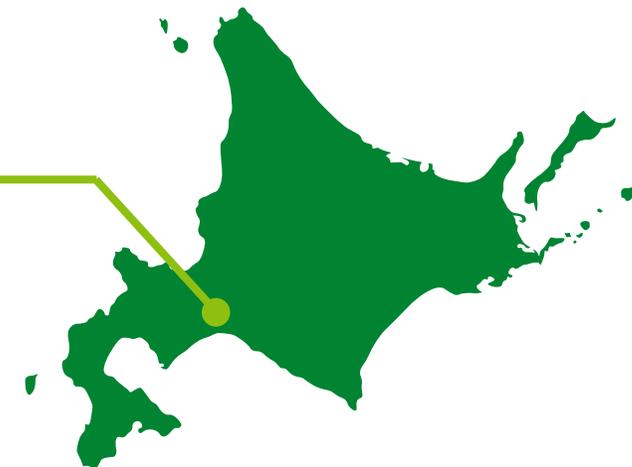


03 | 事業のトピックス

最先端ロジック半導体の国産化を目指す Rapidus株式会社の半導体工場へ FIGグループのAMR（搬送ロボット）導入が決定

Rapidus株式会社

北海道 千歳市



REALIZE によるAMR「WILL-FA」導入が決定。材料・部品容器のエリア間搬送業務の自動化を促進するものであり、材料容器の自動搬送をエア・ウォーター株式会社とクリーンルーム内の部品容器の自動搬送を第一実業株式会社とそれぞれ共同で純国産の搬送ロボットによるソリューションを提案し、2025年に導入。

自社製AMR「WILL-FA」



※イメージ

ポイント

- ✓ 柔軟なカスタマイズ対応と手厚いアフターフォロー
- ✓ SLAM技術と画像処理技術を組み合わせることで、周囲の空間情報を認識し自律走行
- ✓ ネットワークやクラウドにより他の機器や施設内設備と連携が可能

長崎スタジアムシティにおけるロボットの実装及び実証実験に参画

- ✓ ciRoboticsが2024年10月14日に開業した長崎スタジアムシティにおいて、2024年12月16日～17日に実施予定のロボットの実装及び実証実験に参画予定

長崎スタジアムシティ

2日間のロボットの実装及び実証実験を実施予定



搬送ロボット
「WILL-SR」

ロボットの提供事業者の1社として 自社オリジナル搬送ロボット「WILL-SR」を提供

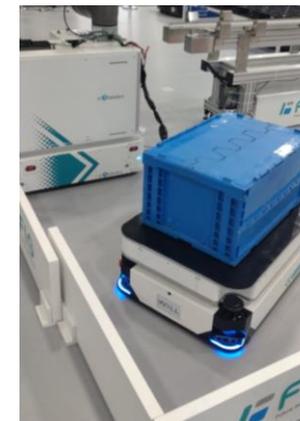
- ✓ 走行ユニットと上部ユニットが分離した構造であるため、用途に応じたカスタマイズが可能
- ✓ 大分県庁にて書類や小包の運搬業務で運用実績あり

人ごみや屋外などの走行環境による 移動性能や安全性能を評価する試験を実施

施設全体でロボット活用を計画

これまで人手で行われてきた作業をロボットで代替することで、人件費の削減や人手不足の解消を目指す

FIGグループ3社とFIGの資本業務提携先である株式会社匠の共同出展



ciRoboticsのAMRと匠のAGVが連携する
デモンストレーション

本展示会で初披露
ciRoboticsのAMRリフタータイプ

ものづくり太郎氏による講演会

チャンネル登録者数28.6万人
製造業系YouTuberものづくり太郎氏による講演会を開催

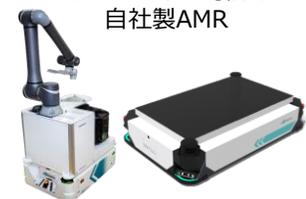
講演内容
労働人口の減少などから、工場や倉庫でのマテリアルハンドリングの自動化が課題となっている。FIGグループと匠の連携により、工場や倉庫における受発注から配送までのワンストップソリューションを実現したことで課題解決のご提案が可能。

PRIMECAST
クラウド型
総物流管理システム

Nexus Prime

- 受発注システム (OMS)
- 倉庫管理システム (WMS)
- 倉庫制御システム (WCS)
- 輸配送管理システム (TMS)

ciRobotics
カスタマイズ可能な
自社製AMR



マニピュレータタイプ
リフタータイプ

TAKUMI
リフト型AGV
REALIZEと連携し自動倉庫など
におけるPLC連携を実現



※REALIZE製造

バスでもクレジットカード等のタッチ決済が使える公共交通機関向け決済サービスの実証実験を開始

- ✓ 国内における公共交通機関でクレジットカードやデビットカード等のタッチ決済で乗降できるサービス
- ✓ 国内外問わず、タッチ決済に対応したカードをお持ちの方がご利用可能（インバウンドのお客様の決済ニーズにも応える）
- ✓ 決済端末はQRコード決済にも対応



実証実験概要

開始時期	2024年9月2日開始
対象路線	湯布院ライナー（大分空港～湯布院）
取り扱いブランド	Visa、JCB、American Express、Diners Club、Discover



タッチ決済のメリット



スムーズなお支払い

タッチ決済で乗降がスムーズ！
現金の準備やチャージの手間がなくなり、残高不足の心配なし



決済手段の多様化

現金、交通系ICカードに加え、決済手段が多様化し、お客様の利便性向上



インバウンド対応

インバウンドのお客様の決済ニーズに応える

横浜市交通局の完全キャッシュレスバスの実証運行で「QRコード決済」を利用した運賃收受実証実験を実施

✓ 横浜市交通局が実施する完全キャッシュレスバスの実証運行の対象路線であるベイサイドブルーの運賃支払い方法として、車内に設置されている敬老パス専用読取機を活用した、QRコード決済サービスの実証実験を2024年11月6日より開始

横浜市交通局

ベイサイドブルー（横浜駅前～山下ふ頭～横浜駅改札口前）



「QRコード」 横浜市敬老パス専用読取機に QRコード決済機能を追加

✓ ご利用可能なQRコードブランド



今後は、デジタル企画乗車券の読取機能や、敬老パス端末に具備されているGPSを活用したバス車両の接近案内等の機能についても順次実験的に追加していく予定

04 | 補足資料

セグメント別業績（四半期推移）

単位：百万円

売上高	2023年12月期					2024年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	3,471	3,532	3,269	3,260	13,534	3,058	2,803	2,943		8,805	△1,467	△14.3%
IoT	2,217	2,120	1,939	2,083	8,361	2,168	1,920	1,984		6,073	△204	△3.3%
マシーン	1,191	1,350	1,268	1,114	4,925	832	879	959		2,670	△1,140	△29.9%
調整額	62	61	61	62	247	58	4	0		62	△123	△66.5%

営業利益	2023年12月期					2024年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	257	212	116	136	723	171	98	47		317	△268	△45.8%
IoT	445	217	226	291	1,181	324	216	220		761	△127	△14.4%
マシーン	60	225	124	123	534	75	119	77		272	△137	△33.6%
調整額	△248	△229	△235	△278	△992	△228	△237	△250		△716	△3	-

※スマートシティは譲渡のため調整額に変更しております。

単位：百万円

	2023年12月期末		2024年12月期3Q			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	15,215	66.6%	11,127	63.8%	△4,088	リース投資資産 △2,756 受取手形、売掛金及び契約資産 △1,824
うち現預金	2,203	9.6%	2,687	15.4%	+484	
固定資産	7,620	33.4%	6,321	36.2%	△1,298	建物及び構築物 △836 土地 △990 投資有価証券 +539
資産合計	22,835	100%	17,449	100%	△5,386	
流動負債	6,645	29.1%	4,767	27.3%	△1,877	支払手形及び買掛金 △281 短期借入金 △1,401
固定負債	6,595	28.9%	2,818	16.2%	△3,776	長期借入金 △4,263 転換社債型新株予約権付社債 +500
負債合計	13,240	58.0%	7,586	43.5%	△5,654	
純資産合計	9,595	42.0%	9,862	56.5%	+267	
負債・純資産合計	22,835	100%	17,449	100%	△5,386	

経営理念

想像と技術と情熱で快適な未来を創造

Vision

笑顔になれる企業グループ

- 優秀な人財が集い、成長と自己実現を両立し、ワクワクとした仕事ができるグループ
- お客様に新しい価値を提供し「ありがとう」と言われる企業グループ
- 健全で適正な利益を生み、社員とその家族を幸せにし、そして株主にも満足してもらえるグループ

FIGグループのValue

- ベンチャー精神を忘れず、現状維持には満足しない
- リスクのないところにチャンスはない、情熱を持ってチャレンジを続ける
- 慈愛の精神を忘れず、相手の事を考えるのを忘れてはならない
- 行動は正しくなければならない
- 知能だけでなくセンスが大事、行動し経験を積むことで養われる
- 物事を俯瞰して見る、角度を変えれば見え方も変わってくる
- 正しく伝えることは難しく、伝える力が財産になる
- コミュニケーションを大切にし、グループ会社とその組織は横断型でなくてはならない
- スピード自体が大きな価値になる
- どうやれば出来るか、諦めるのは最後の選択



ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略でサステナブル経営を目指す



Environment

ITで地球環境負荷低減へ貢献

- 自社の製品・サービスによる環境負荷低減
- 事業活動で排出される廃棄物削減、資源化率の向上、自然エネルギーの利用
- 有害物質使用削減への取り組み
- 地域環境の保全



Social

グループの技術で快適な未来を創造

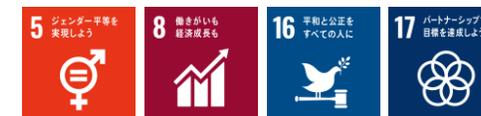
- Society5.0の社会を支える技術・サービスの提供（ドローン・ロボット）
- 持続可能な地域交通に貢献する（バス・タクシー）
- キャッシュレス化社会の実現に貢献する
- MaaSの普及に貢献する
- 防災・減災・安全に貢献する
- スマートホテルを実現する技術の追求
- はたらきやすさ（健康増進・ダイバーシティ推進）を提供する



Governance

経営基盤を強固にするためのガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの徹底
- 社外役員の登用
- 役員報酬額の決定方法
- コンプライアンスの順守・研修の実施
- 反社会的勢力排除への対応
- 情報セキュリティの強化

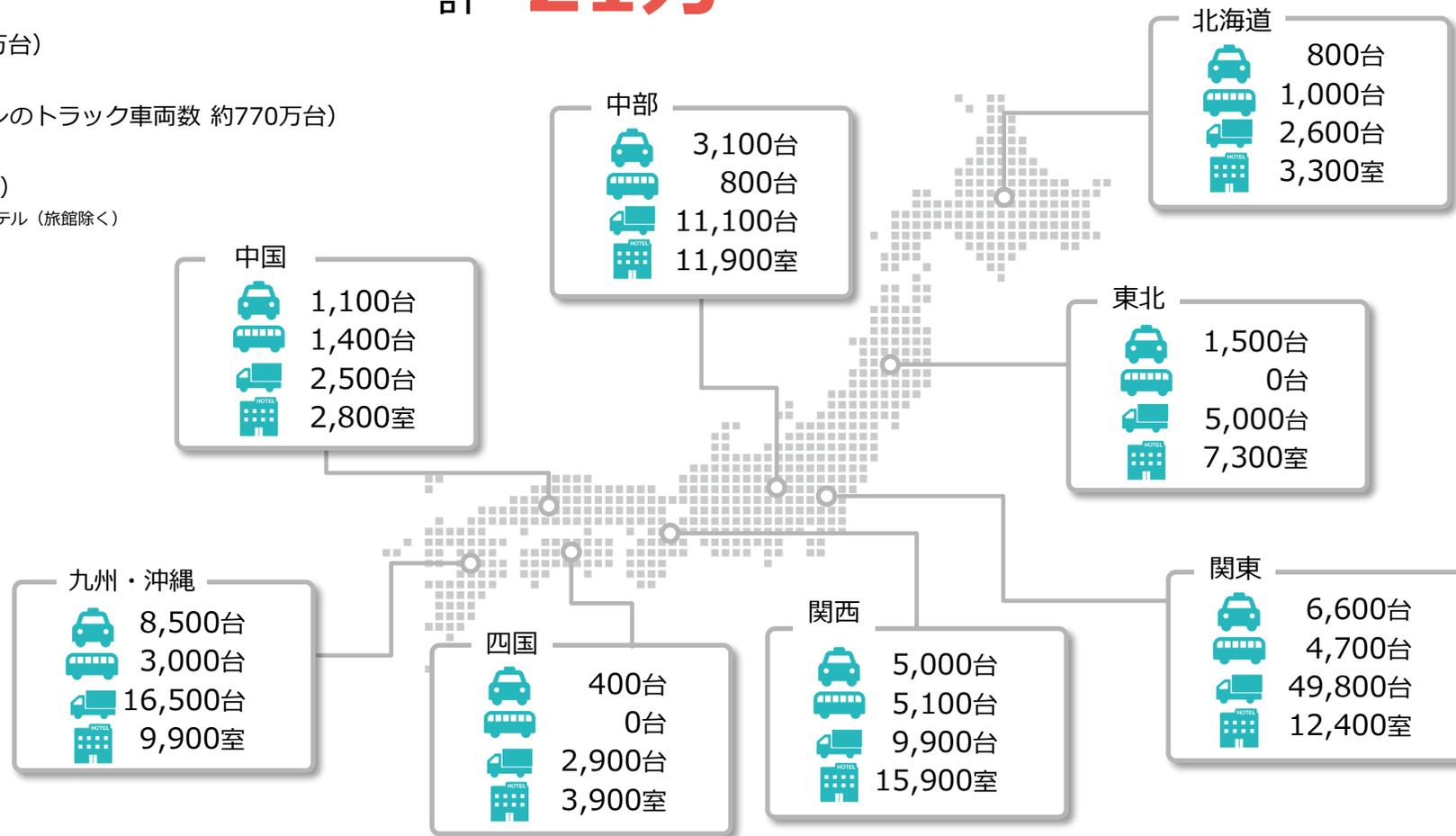


顧客基盤（月額サービス契約数）

2023年12月時点

-  タクシー 約27,000台
(シェア13%、タクシー車両数 約20万台)
-  バス 約16,000台
(シェア28%、乗合バス車両数 約5.7万台)
-  物流他 約100,300台
(IP無線車載タイプシェアNo.1、メインのトラック車両数 約770万台)
-  ホテル 約67,400室
(シェア6%、ホテル客室数 約115万室)
ホテル：ビジネスホテル、シティホテル、リゾートホテル（旅館除く）

計 **21万**





【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。